

○孫 珠熙*, 中川早苗**

(*奈良女大・院, **奈良女大)

【目的】 前報ではブラウス素材の力学的性質とその視覚効果について、白色 36 種の試料を用いて測定し分析を行った結果、素材の力学的性質と視覚効果の多くの項目間に関連が見られた。また、ブラウスの素材イメージとデザインイメージとの関連性について検討した結果、デザインがシンプルな場合、素材イメージとデザインイメージにはほとんど差異が見られなかった。本研究では、ブラウスのデザインイメージとその素材の力学的性質との関連について検討を試みた。

【方法】 試料に用いたブラウスは前報の素材を用いて製作されたブラウス 17 着である。デザインイメージの測定には前回素材イメージの測定に用いた 12 対の形容語を用い 7 段階で評定を求めた。被験者は女子学生 59 名である。素材の力学的性質については KES システムを用いて 16 項目の力学量を算出した。分析には相関分析、因子分析、クラスタ分析の手法を用いた。

【結果】 1. ブラウスのデザインイメージの評定平均値と素材の力学量をもとに相関分析を行った結果、「高級な」、「エレガントな」、「アダルトな」等の形容語と LT,B,2HB,G,LC,MIU 等の力学的性質の間に 0.5 以上の関連がみられたが、「目新しい」、「都会的な」等の形容語との間には関連がみられなかった。2. ブラウスのデザインイメージについて因子分析を行った結果、「エレガント性」、「洗練性」、「ファッション性」の 3 因子が得られた。各ブラウスの因子得点をもとに素材の力学的性質との関連をみると「エレガント性」と LT,B,G,LC,MIU の力学的性質の間に 0.5 以上の関連がみられた。3. 各ブラウスの因子得点をもとにクラスタ分析を行った結果、4 つのクラスタが得られ、各クラスタによってそのデザインイメージや力学的性質に差異が見られた。